

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	高知県	事業実施主体	大川村	地域再生計画名	豊かな自然を活かしたむらづくり計画
計画期間	令和２年度～令和６年度	評価責任者	大川村 むらづくり推進課長 近藤 諭士		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標 1	木材搬出量の増加	6,794m3	H30	6,794m3	R4	10,450m3	7,769m3	R4		○	指標 総数	達成 数	年度による増減はあるものの、目標値を超えており、評価できる。
	指標 2	山歩きツアーの イベント参加者の増加	29人	H30	35人	R4	26人	40人	R4	△	4	3	常勤雇用していた日本山岳ガイド協会認定山岳ガイドの雇用満了などによりツアーの開催回数が減ってしまい、目標達成には至らなかった。 ただし、新規ガイドが令和3年度に開業するなど、新しい取り組みも始まっており、中間目標の達成率74%と、一定評価できる。	
	指標 3	マウンテンバイク等の イベント参加者の増加	31人	H30	35人	R4	43人	40人	R4	○			イベント開催を継続出来ており、集客も一定安定していることから評価できる。	
	指標 4	白滝の里宿泊者数の増加	1,230人	H30	300人	R4	1,571人	2,000人	R4	○			コロナ禍により大きな打撃を受けたが、プロモーション事業等の後押しもあり、一定の回復傾向にある。中間目標値は超えており、評価できる。	
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 (R4)	最終実績 見込み									
	特別措置を適用して行 う事業	村道小北川線改良工事	0.18km	0.08km	0.11km	中間年度時点で0.11kmを目標にしていたが、0.08kmと、現地精査による工事内容の変更(数量増、設計見直し)などにより、計画比で遅れている。								
		林道寒風大座礼東線開設工事	1.50km	0.64km	0.89km	中間年度時点で0.90kmを目標にしていたが、0.64kmと、新規路線開設に伴う付帯工事に関し想定を超えた期間を要したことなどにより、計画比で遅れている。								
	その他の事業													
	計画外で独自に実施し た事業	林業振興	各種林業機械等導入補助他			林業振興を図るために森林環境譲与税や各種補助事業を活用しながら安全かつ省力化の推進を後押ししている。								
観光振興		PR動画の制作、ブランディング推進等			交流人口定住人口増加に資する村のPRを推進し、かつ特産品のアピールなどを実施するため、プロモーションの取り組みを複数実施した。									
③評価方法	評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。													
④中間評価の公表方法	高知県大川村ホームページ(http://www.vill.okawa.kochi.jp/life/dtl.php?hdnKey=1540)に掲載													
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した村道整備と林道整備を一体的に行うことにより、効率的かつ効果的に観光振興・林業振興等を進めることを目的としている。 なお、事業の進捗状況については計画を下回っている状況であるが、数値目標の達成状況については4つの指標内3つの指標について目標値を達成しており、効果が発現していると評価する。													
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容								
	地域再生計画の見直し（有・無）													
	令和6年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 10,000千円					村道改良工事の整備延長進捗を図る。								
⑦今後の方針等に対する 対応														